

English follows Japanese

律法との関係 コロサイ人への手紙 2:9-10

キリスト教を離れたり、聖書の真実から離れて、そのことについてブログや本を書く人も少なくない昨今です。「デートにさよなら」という本で有名になったジョシュア・ハリスのように、牧師で作家として長年活動してきた人たちは、聖書の真理を否定しながらクリスチャンであり続けることはできないことを認識しています。ですから、彼らは完全に信仰を捨ててしまいます。一方でレイチェル・ヘルド・エヴァンスのように聖書の道徳的基準を否定しつつも、キリストに従っていると主張する人たちもいます。彼女たちが挙げる理由の一つは、キリストに従う者である私たちと旧約聖書の律法との関係を聖書がどのように扱っているかについての誤解から来るものです。彼らは聖書の道徳感に対する攻撃として、それは聖書そのもの、つまり聖書を書かれた神への攻撃でもあります。私たちが旧約聖書の律法で禁じられている豚肉を喜んで食べたり、様々な種類の繊維が撚り合わされた生地を身につけたりする一方で、同じく旧約聖書で非難されている同性愛を今日では受け入れていることを指摘します。教義の一つとして明確に示すほど重要でないと思われるかも知れませんが、神のことばとして聖書を信頼する上で、また神の不変で絶対的な規範と、2021年の現在においても何を罪とみなされるのかを理解するうえで重要です。旧約聖書、またそこに書かれている律法とクリスチャンとの関係について、新約聖書には多くのことが語られています。時には相反する見解が示されているように見えることもあります。この点を明らかにし、現代の私たちにどう適用されるのかを確認するため、コロサイ人への手紙 2:9-3:10 を見ながら、律法と私たちの関係に関する教義を学んでいきたいと思います。この聖書箇所でカギとなるのはコロサイ 2:20-23 です。「もしあなたがたがキリストとともに死んで、この世のもろもろの霊から離れたのなら、どうして、まだこの世に生きていたかのように、21. 「つかむな、味わうな、さわらな」といったために縛られるのですか。22. これらはすべて、使ったら消滅するものについての定めで、人間の戒めや教えによるものです。23. これらの定めは、人間の好き勝手な礼拝、自己卑下、肉体の苦行のゆえに知恵のあることのように見えますが、何の価値もなく、肉を満足させるだけです。」祈りましょう。

「律法」を理解するためにまず見るべきは、神がシナイ山でモーセに与えられた十戒です。特にイスラエルの民に適用される神の律法が文字で示されたのは、これが最初でした。ですが、本当の神の律法はモーセではなく、アダムの中からありました。ロンドン信仰告白の第 19 章全てが、神の律法について述べています。第 19 章の最初のパラグラフはこのように始まります。

「神はアダムに、その心に記した普遍的な服従の律法を与えられ、また 善悪を知る木の実を食すなどの特別な命令を与えられた。これによって彼とそのすべての子孫に人格的な、全き、厳密な、永続的な服従の義務を負わせ」そして第二パラグラフでは、十戒とはその同じ律法を継続するもので、別の道徳基準ではないと言っています。「人の心に最初に記されたこの律法は、墮落後も義の完全な基準として継続し、神によってシナイ山で十戒として申し渡され二枚の石板に書かれた。」

神の律法に関して、そのような背景を踏まえたうえで、コロサイ人への手紙 2:9-20 を読みたいと思います。「キリストのうちにこそ、神の満ち満ちたご性質が形をとって宿っています。10. あなたがたは、キリストにあって満たされているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです。11. キリストにあって、あなたがたは人の手によらない割礼を受けました。肉のからだを脱ぎ捨てて、キリストの割礼を受けたのです。12. バプテスマにおいて、あなたがたはキリストとともに葬られ、また、キリストとともによみがえらされたのです。キリストを死者の中からよみがえらせた神の力を信じたからです。」「背きのうちにあり、また肉の割礼がなく、死んだ者であったあなたがたを、神はキリストとともに生かしてくださいました。私たちのすべての背きを赦し、14. 私たちに不利な、様々な規定で私たちを責め立てている債務証書を無効にし、それを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました。15. そして、様々な支配と権威の武装を解除し、それらをキリストの凱旋の行列に捕虜として加えて、さらしものにされました。」この書簡の書き手は使徒パウロですが、彼が伝えようとしている点は、キリストが律法を全うし、そ

の死によって、私たちが律法を破った罪に対して負うべき債務を担って下さったということですから。これはイエスがマタイによる福音書 5:17 で指摘していることでもあります。「わたしが律法や預言者を廃棄するために来た、とってはなりません。廃棄するためではなく成就するために来たのです。」イエスは完全に律法を守られたので、私たちと違って、律法によって咎められることはありませんでした。それだけでなく、イエスが律法を守られたことは、それまで律法の下に捧げられた動物その他の全ての捧げものに代わって、イエスの死が最後の完全な捧げものとなったことを意味し、律法の成就となりました。ヘブル人への手紙 10 章では、動物の血では人間の罪を完全に覆うことができないので、律法の下で継続的に動物のいけにえを捧げる必要があることを述べた後、10:12 で「キリストは、罪のために一つのいけにえを献げた後、永遠に神の右の座に着き」と言っています。キリストがご自身を捧げものとして一度だけ捧げられたことで、救いの業は終わったのです。ですからパウロはコロサイ人への手紙の中で、イエスは神であり、神の満ち満ちたご性質（9 節）をお持ちであるので、様々な規定で私たちが責め立てている債務証書を無効に（14 節）することがお出来になったのです。動物たちが出来なかったことをイエスがなさって下さったのです。そして、文字通り人の皮膚の一部を取り除く割礼のしるし（そしてそれを表す律法）は、キリストが私たちの古い性質、つまり罪の性質とそれに伴う死とを取り除く、霊的な割礼に置き換えられました。イエス・キリストの内のみを見つけることができる、復活した新しい永遠の命に置き換えられるのです。ですからパウロは、律法を守り、正しいいけにえを捧げ、間違っただけのものを食べないことで神に近づこうとする古い試みは、キリストによって取り除かれたと言っています。

そこでこのことについて 16-23 節でこう続けます。「こういうわけですから、食べ物と飲み物について、あるいは祭りや新月や安息日のことで、だれかがあなたがたを批判することがあってはなりません。17. これらは、来たるべきものの影であって、本体はキリストにあります。18. 自己卑下や御使い礼拝を喜んでいる者が、あなたがたを断罪することがあってはなりません。彼らは自分が見た幻に拠り頼み、肉の思いによっていたずらに思い上がって、19. かしらにしっかり結びつくことをしません。このかしらがもとになって、からだ全体は節々と筋によって支えられ、つなぎ合わされ、神に育てられて成長していくのです。もしあなたがたがキリストとともに死んで、この世のもろもろの霊から離れたのなら、どうして、まだこの世に生きているかのように、21. 「つかむな、味わうな、さわるな」といった定めに縛られるのですか。22. これらはすべて、使ったら消滅するものについての定めで、人間の戒めや教えによるものです。23. これらの定めは、人間の好き勝手な礼拝、自己卑下、肉体の苦行のゆえに知恵のあることのように見えますが、何の価値もなく、肉を満足させるだけです。」このパウロからの手紙を読んだユダヤ人は、彼がユダヤ人の生活の中心にあった宗教的な儀式や食べ物に関する掟を守る必要はないと言っていると理解したことでしょう。つまり、彼らにはパウロが神の律法を否定しているように思えたでしょう。最初に、神の律法はアダムの時に与えられ、モーセに引き継がれて文字に示されたとお話ししました。けれど、神がモーセに示されたのは神が期待されていることを定めた単なる道徳的な 10 の戒めではなく、イスラエルの民が神を礼拝するとはどういうことを定めた儀式でした。そして、それ以上に、彼らの社会を神が直接支配される神政国家として統治するための指示が示されていました。これはアダムの時代に与えられた道徳的規範とは別のものです。信仰告白の第 3 パラグラフには、「通常、道徳律法と呼ばれているこの律法のほかに、神はイスラエル民族に対して儀式律法を与えることをよしとされた。これは、一部はキリストとその恩恵、行為、苦難、祝福を予表する礼拝に関する、一部は道徳的義務の種々な教訓を提示する予表的規定を含んでいる」とあります。そして第 4 パラグラフには「神はまた彼らにさまざまの司法的律法を与えられた。」とあります。20 節でパウロが聖霊を通して語っているのは、キリストが来られる以前の神の礼拝に関わる儀式的な定めや、イスラエルの司法的律法に私たちが従うべきではないということですから。

それらに従わない理由は、儀式的な定めや祭司による捧げものなどは全てイエス・キリストを指し示すために行われていたからです。17 節は、「これらは、来たるべきものの影であって、本体

はキリストにあります。」と言っています。キリストの犠牲を目にしなくとも、何百、何千もの動物の捧げものが成しえなかったことを、私たちのために成し遂げて下さったキリストの犠牲を、信仰をもって見るのです。コロサイの教会には、異邦人やユダヤ人信徒に割礼を受けて、再び、あるいはあらためて旧約聖書の律法に従う必要があると説く人たちがいたようです。彼らは神や御使いがそうするように命じたと人々に信じ込ませていたのです。このことは、19節で次のようにパウロが指摘しているように、教会に不和をもたらしました。「かしらにしっかり結びつくことをしません。このかしらがもとになって、からだ全体は節々と筋によって支えられ、つながり合わされ、神に育てられて成長していくのです。」頭であるキリストに在って一つにまとまっているはずの体が、このような律法主義の教えによって引き裂かれていたのです。これは神の目に深刻な問題であり、そうでなければパウロがこのように話題に取り上げることもなかったでしょう。次に移る前にこの点においてパウロは、律法主義的な規則を守ることは「知恵のあることのように見えます」が、「何の価値もなく、肉を満足させるだけ」の「人間の好き勝手な礼拝」にすぎない述べています。言い換えれば、これまでもそうであったように、律法に頼っても罪を止めることはできないということです。私たちの善が私たちの罪を勝ることは決してありません。私たちには真に神に栄光を帰することができないからです。ローマ人への手紙3:23にも「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず」とあるからです。私たちが神の栄光を受けるためには、キリストを通して与えられる神の恵みが必要です。それはルールを守ることでは決して得ることができません。

ですから論理的な結論としては、律法はクリスチャンとは何の関係もないということになります。私たちは旧約聖書に書かれている如何なる制限からも自由で、自分の良心、それどころか社会に沿っていると思える方法で信仰生活を送ることができるという事でしょうか。それが正しいのでしょうか。もしそうであったなら、パウロはこれらの定めが「何の価値もなく、肉を満足させるだけです。」という言葉で終わったのでしょうか。もし、神が作られた規則による制限を取り除くことが目的であったなら、リビングバイブルで訳されているように「人の心に忍び込む、悪い思いや欲望に打ち勝つ」ことに、なぜこだわるのでしょうか。そうではなく、3章を読み進めると、クリスチャンは十戒と同じかそれと同等の基準、あるいはモーセの律法よりも高い基準を課せられていることがはっきりと分かります。コロサイ人の手紙3:1-10には「こういうわけで、あなたがたはキリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。ここでは、キリストが神の右の座に着いておられます。2. 上にあるものを思いなさい。地にあるものを思ってはなりません。3. あなたがたはすでに死んでいて、あなたがたのいのちは、キリストとともに神のうちに隠されているのです。4. あなたがたのいのちであるキリストが現れると、そのときあなたがたも、キリストとともに栄光のうちに現れます。5. ですから、地にあるからだの部分、すなわち、淫らな行い、汚れ、情欲、悪い欲、そして貪欲を殺してしまいなさい。貪欲は偶像礼拝です。6. これらのために、神の怒りが不従順の子らの上に下ります。7. あなたがたも以前は、そのようなものの中に生き、そのような歩みをしていました。8. しかし今は、これらすべてを、すなわち、怒り、憤り、悪意、ののしり、あなたがたの口から出る恥ずべきことばを捨てなさい。9. 互いに偽りを言うてはいけません。あなたがたは古い人をその行いととも脱ぎ捨てて、10. 新しい人を着たのです。新しい人は、それを造られた方のかたちにしたがって新しくされ続け、真の知識に至ります。」とあります。

クリスチャンにはキリストに在る新しい命があります。それは、全てにおいてキリストを優先し、その栄光を求める生き方です。私たちの罪深い行動という古い性質を脱ぎ捨て、イエス・キリストという新しい命を身にまとうことを意味します。つまり、この箇所で挙げられているような罪深い行動ではなく、イエスを映し出す行動や態度を意味しています。考えてみれば、ここで殺してしまわなくてはいけない行為として挙げられているものは、十戒、つまり律法の内容とよく似ています。先ほど律法に戻るなど言われた神が、ここでは淫らな行いは殺さねばならないと言われます。出エジプト記20章にある第6戒には、姦淫してはならないとあります。また第1、第9、第10戒では貪欲と偶像礼拝を戒めておられます。新約聖書では主に十戒に代表され

る道徳律が、イエスによって、また使徒たちによって様々な形で繰り返され、みことばが展開していきます。つまりコロサイ人への手紙 2 章に記されている、律法の儀式的な部分と司法的部分は、クリスチャンにとっては取り除かれています。アダムの中からある道徳的な律法は、クリスチャンにも適用されるということです。ロンドン信仰告白の第 5 パラグラフには、「キリストも福音においてこの義務を解消することなく、かえって大いにそれを強化されている」とあります。

もし福音が律法の儀式的な要件を失くしてくれたのであれば、福音がどのように神の道徳的な律法を守る義務を強めるというのでしょうか。既に述べたように、救いにおいてイエスは私たちの主となり、私たちは聖書に明らかにされているイエスの命令に従います。しかし、救いはモーセの律法と違い、その律法を守るための力、つまり聖霊を約束します。ローマ人への手紙 8:12-13 は「ですから、兄弟たちよ、私たちには義務があります。肉に従って生きなければならないという、肉に対する義務ではありません。13. もし肉に従って生きるなら、あなたがたは死ぬこととなります。しかし、もし御霊によってからだの行いを殺すなら、あなたがたは生きます。」と語っています。神がしてはならないと命じておられる罪を殺すため、聖霊が私たちを力づけて下さいます。ゴスペル・コアリーション・カナダの常任理事であるワイアット・グラハム氏は「(律法は) クリスチャンが御霊によって既にやりたいと願っていること、つまり御霊によって自由に神に従うことを成す助けとなる。」と語っています。神の道徳率を果たすという召命は、単に規則に従うという意味以上のものがあります。私たちの従順さは、神の似姿に造られた自分になっていくことに基づいていますので、コロサイ人への手紙 3:10 は「それを造られた方のかたちにしたがって新しくされ続け」と語っています。神を定義するものは、その聖さと罪とは相容れないことであると同時に、私たちのような罪人のために御子を十字架にかけるために送られた愛です。律法から解放されることで、私たちは神への愛と他者への愛をもって、真に神に従うことができるのです。マタイによる福音書 22:37-40 でイエスは「『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』 38. これが、重要な第一の戒めです。 39. 『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。 40. この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。」と言われました。神を愛するということは、神の道徳律に従うことであり、他者を愛するということは、神の命じられた通りに人に接することです。もし私たちが神の望まれるとおりに神の律法に従って生きるならば、神への愛も、人への愛も、日々高まっていくことでしょう。祈りましょう。

Relationship to the law Colossians 2:9-3:10

It is popular today to leave Christianity or at least true Biblical Christianity and then of course write blogs and books about it. Some like Joshua Harris of I Kissed Dating Goodbye fame, who spent many years as a pastor and author, recognize that you really can't be a Christian while rejecting the Bible's truth. So they deconvert entirely. But others such as Rachel Held Evans claims to still follow Christ while rejecting Biblical moral values. Part of her and others reasoning is their misunderstanding of how the Bible deals with our relationship as followers of Christ with the Old Testament law. They point out as an attack on Biblical morality that is really an attack on Scripture itself and therefore God as the author of Scripture, that we choose to accept the Old Testament condemnation of homosexuality as valid for today, but will happily eat pork or wear fabrics made of a mix of different types of fiber, both of which are also prohibited in the Old Testament law. Now at first it may seem that this is not important enough to be addressed in a doctrinal statement, but it is important to our trust in the Bible as God's Word and in our understanding of the permanence of God's moral absolutes and what he considers sin even in 2021. The New Testament has a lot to say about the Old Covenant or Testament law and the Christians relationship to it. Sometimes there actually seems to be conflicting views given. In order to figure this out and see how it applies to us today, I want to look at Colossians 2:9-3:10 as we study this doctrine of our relationship with the law today. The key verses in this passage are **Colossians 2:20-23. 20 If with Christ you died to the elemental spirits of the world, why, as if you were still alive in the world, do you submit to regulations— 21 “Do not handle, Do not taste, Do not touch” 22 (referring to things that all perish as they are used)—according to human precepts and teachings? 23 These have indeed an appearance of wisdom in promoting self-made religion and asceticism and severity to the body, but they are of no value in stopping the indulgence of the flesh. Let's pray.**

The typical starting place for understanding the “Law” is the 10 Commandments that God gave to Moses on Mount Sinai. And that is where the law of God especially as it applies to Israel in written form does have its beginning. But the true law of God began with Adam, not Moses. The entirety of chapter 19 of the London Confession deals with this idea of God's law. **The first paragraph of chapter 19 opens with “God gave Adam a universal law of obedience written in his heart and a specific command to not eat the fruit of the tree of knowledge of good and evil. By giving this law and command to Adam, God required of Adam and all his offspring personal, complete, exact, and eternal obedience.”** And then in the second paragraph we are told that the 10 Commandments represent a continuation of that same law, not a different set of moral standards. **The same law that was first written in the human heart continued to be a perfect rule of righteousness after the fall. It was delivered by God on Mount Sinai in ten commandments and written in two tables...**

With that background on the law of God in mind, I want to read Colossians 2:9-20 **9 For in him the whole fullness of deity dwells bodily, 10 and you have been filled in him, who is the head of all rule and authority. 11 In him also you were circumcised with a circumcision made without hands, by putting off the body of the flesh, by the circumcision of Christ, 12 having been buried with him in baptism, in which you were also raised with him through faith in the powerful working of God, who raised him from the dead. // 13 And you, who were dead in your trespasses and the uncircumcision of your flesh, God made alive together with him, having forgiven us all our trespasses, 14**

by canceling the record of debt that stood against us with its legal demands. This he set aside, nailing it to the cross. 15 He disarmed the rulers and authorities and put them to open shame, by triumphing over them in him. The Apostle Paul is the writer here, and he is making the point that Christ fulfilled the law, and by his death paid the debt that we owed for our sin, for breaking that law. This is the point Jesus makes in [Matthew 5:17](#) [Do not think that I have come to abolish the Law or the Prophets; I have not come to abolish them but to fulfill them.](#) Jesus perfectly kept the law, and unlike us, he was never condemned by the law because he perfectly kept that law. Not only that, his keeping of the law was a fulfilling of the law in that his death meant that he provided the final perfect sacrifice that all the animals and other sacrifices offered under the law were pointing to. Hebrews 10 after talking about the need for continual animal sacrifices under the law because that animal blood could not truly cover human sin then says in [Hebrews 10:12](#), [But when Christ had offered for all time a single sacrifice for sins, he sat down at the right hand of God](#)... Christ offered himself one time as a sacrifice and the work of salvation was done.

That is why Paul could write here in Colossians that Jesus being God, having the **fullness of deity** (verse 9), could...**cancel the record of debt that stood against us with its legal demands** (verse 14). He did what all those animals could not do. And the sign of circumcision (and the law that it represented) which was literally removing a piece of human skin, was replaced with a spiritual circumcision where Christ removes our old nature, our sin nature and the death that comes with it. He replaces it with a new resurrected eternal life that is only found in Jesus Christ. So, Paul says, this old attempt to reach God through keeping the law, making the right sacrifices and not eating the wrong things is done away with in Christ.

So, he continues this theme in verses 16-23. **16 Therefore let no one pass judgment on you in questions of food and drink, or with regard to a festival or a new moon or a Sabbath. 17 These are a shadow of the things to come, but the substance belongs to Christ. 18 Let no one disqualify you, insisting on asceticism and worship of angels, going on in detail about visions, puffed up without reason by his sensuous mind, 19 and not holding fast to the Head, from whom the whole body, nourished and knit together through its joints and ligaments, grows with a growth that is from God. // 20 If with Christ you died to the elemental spirits of the world, why, as if you were still alive in the world, do you submit to regulations— 21 “Do not handle, Do not taste, Do not touch” 22 (referring to things that all perish as they are used)—according to human precepts and teachings? 23 These have indeed an appearance of wisdom in promoting self-made religion and asceticism and severity to the body, but they are of no value in stopping the indulgence of the flesh.**

To any Jew reading this letter from Paul, they would have understood that he was saying there was no need to follow the religious rituals and food laws that so much of Jewish life revolved around. In other words, this was God's law that he was rejecting in their minds. Remember I started by saying that God's law started with Adam and was written down as it was passed to Moses. But what God passed to Moses was not simply the morals of the 10 Commandments that defined God's expectations, but ceremonies that defined for the people of Israel their worship of God. And even beyond that, it laid out instructions for governing their society as one directly governed by God as a theocracy. This is separate from the moral law given at the beginning of time to Adam.

The Confession says in paragraph 3, Besides this law, which is commonly called the moral law, God was pleased to give ceremonial laws to the people of Israel. These laws contained several typological ordinances. Some of them were about worship, which foreshadowed Christ and his graces, actions, sufferings, and benefits. They also contained various instructions concerning moral duties. And tells us in paragraph 4, God also gave the people of Israel various judicial laws... It is these ceremonial laws pertaining to the worship of God before Christ's coming as well as the governing judicial laws for Israel that Paul is saying through the Holy Spirit in verse 20 that we should not submit to.

The reason we do not follow those laws is because the ceremonial law and priestly sacrificial system was all done to point to Jesus Christ. Verse 17 says, **These are a shadow of the things to come, but the substance belongs to Christ.** Christ is the real thing. We don't need a picture of Christ's sacrifice, we look back in faith at his sacrifice that accomplished for us what hundreds and thousands of animal sacrifices could not do. Apparently there were those in the Colossian church that were trying to convince gentiles and Jewish believers that they needed to be circumcised and once again or for the first time follow the Old Testament law. They were convincing people that God or angels had told them to do this. This was causing disunity in the church as Paul points out in verse 19 **and not holding fast to the Head, from whom the whole body, nourished and knit together through its joints and ligaments, grows with a growth that is from God.** The body that is supposed to be together as one in Christ, the Head, is being torn apart by this teaching of legalism. This is a serious problem in God's eyes or else Paul would not have addressed it like this. He ends his thoughts on this before turning a corner by saying that following these legalistic rules give the **"appearance of wisdom"**, but are nothing but **"self-made religion"** with **no value in stopping the indulgence of the flesh.** In other words relying on the law does not stop sin, just as it never has. Your good can never outweigh your sin, because it can never truly bring glory to God. Because as **Romans 3:23 says, 23 for all have sinned and fall short of the glory of God.** We need God's grace extended to us through Christ in order to glorify God. That will never come by keeping rules.

So the logical conclusion is that the law has no relationship to Christians. We are free from any constraints we find in the Old Testament to live our life of faith however we feel aligns with our conscience or even our society? Is this right? If it was would Paul have ended by making the statement, **they are of no value in stopping the indulgence of the flesh.** If the point is completely doing away with the restraints of rules made by God then why would he even care about what the New Living Translation translates as **"conquering a person's evil desires."** Instead, when we continue into chapter 3, we see very clearly that Christians are held to the same or similar standards as the 10 Commandments, and really a higher standard than the law of Moses. **Colossians 3:1-10 says, 3 If then you have been raised with Christ, seek the things that are above, where Christ is, seated at the right hand of God. Set your minds on things that are above, not on things that are on earth. 3 For you have died, and your life is hidden with Christ in God. 4 When Christ who is your life appears, then you also will appear with him in glory. 5 Put to death therefore what is earthly in you: sexual immorality, impurity, passion, evil desire, and covetousness, which is idolatry. 6 On account of these the wrath of God is coming. 7 In these you too once walked, when you were living in them. 8 But now you must put them all away: anger, wrath, malice, slander, and obscene talk from your**

mouth. 9 Do not lie to one another, seeing that you have put off the old self with its practices 10 and have put on the new self, which is being renewed in knowledge after the image of its creator.

For the Christian, there is a new life in Christ that is lived seeking to put him first in all things and seeking his glory. This means that the sinful actions of our old nature are to be put off and the new life of Jesus Christ is to be put on. This means actions and attitudes that reflect him and not the sinful actions that are listed here in these verses. If you think about it, these actions listed as needing to be put to death resemble very much the 10 commandments or in other words, the law. Here God who has just said, don't return to the law says sexual immorality should die. The sixth Commandment found in Exodus 20 tells us to not commit adultery. Here God warns against covetousness and idolatry, which are the first, ninth and 10th commandment. Throughout the New Testament, the moral laws of the Old Testament as represented primarily in the 10 Commandments are repeated in various ways by Jesus and then the apostles and the Scripture unfolds. So, it becomes clear that while the ceremonial and judicial parts of the law as described in Colossians 2 have been done away with for the Christian, the moral law that began with Adam remains in effect for believers. And as [paragraph 5 of the London Confession](#) states, [Christ in the Gospel does not in any way abolish the obligation to keep the moral law, but rather strengthens it.](#)

How does the Gospel strengthen our obligation to keep this moral law of God if the Gospel does away with the ceremonial requirements of that same law. As we have already discussed, in salvation Jesus becomes our Lord or Master and we follow his commands as found in Scripture. But salvation unlike the mosaic law promises the strength to keep that law – the Holy Spirit. [Romans 8:12-13](#) says, [12 So then, brothers, we are debtors, not to the flesh, to live according to the flesh. 13 For if you live according to the flesh you will die, but if by the Spirit you put to death the deeds of the body, you will live.](#) The Holy Spirit empowers us to put to death the sins that God commands us not to do. *Wyatt Graham, the executive director of The Gospel Coalition Canada put it best when he said that [The law] can aid Christians in accomplishing what they want to do by the Spirit already: obey God freely by the Spirit.* And our calling to fulfill the moral law of God is so much more than just following rules. Our obedience is based on becoming who we are made to be in the image of God so Colossians 3:10 ends, [being renewed in knowledge after the image of its creator.](#) What defines God is his holiness and separateness from sin, but also his love that sent his son to die on a cross for sinners like us. Being free from the law leaves us free to truly follow God in love – love for God and love for others. In [Matthew 22:37-40](#), Jesus said, [“You shall love the Lord your God with all your heart and with all your soul and with all your mind. 38 This is the great and first commandment. 39 And a second is like it: You shall love your neighbor as yourself. 40 On these two commandments depend all the Law and the Prophets.”](#) To love God is to obey his moral law, and to love others is to treat them as God tells us to. If we are living out God's law as he intends, then our love for him and our love for others will be growing every day of our lives. Let's pray.